

カーボンハーフスタイル推進資料 指導資料

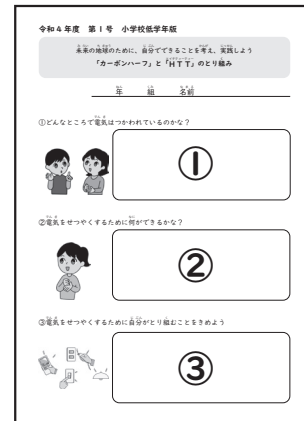
カーボンハーフスタイル推進資料は、温室効果ガスの排出を実質ゼロにするという世界共通のゴールに向けて、自然環境や地域、地球規模の諸課題等の環境保全に関する具体的な内容を示し、児童・生徒に、環境に対する豊かな感受性や探究心、環境に関する思考力や判断力、環境に働きかける実践力など、持続可能な社会を構築していくための資質・能力の育成を図ることを目的に作成した教材です。

本指導資料では、カーボンハーフスタイル推進資料の授業での活用例を紹介します。

カーボンハーフスタイル推進資料の活用例

未来の地球のために、自分でできることを考え、実践しよう 「カーボンハーフ」と「HTT」のとり組み

①表題



②ねらい

- 現在、世界共通の問題として対応を迫られている温室効果ガス削減に対する取組について理解する。
- 東京都が発信する「HTT」について知り、自分たちが参加できるCO₂削減についての考え、実践しようとする態度を育成する。

③本教材で扱う 主な内容

カーボンハーフ、HTT、自分たちにできるCO₂削減対策

④主な活動内容

主な活動内容	指導の要点	◆推進資料との関連 ■関連リンク
○推進資料①を見て、「カーボンハーフ」について知る。	○地球のねつをとじこめて気温を高くするガス（温室効果ガス）とは何か説明をする。 ○発電と温室効果ガス排出との関係について説明する。 ○「カーボンハーフ」が2030年までに温室効果ガスの排出を2000年比の半分に削減する東京都の取組であることを理解させる。	◆推進資料①
○推進資料②を見て、東京都の取組「HTT」について理解する。	○東京都の取組「HTT」について紹介する。 ○「HTT」に取り組むことが、「カーボンハーフ」につながることに気付かせる。	◆推進資料② ■広報東京都 こども版5月号
○推進資料③を見て、どんなところで電気が使われているのかを話し合う。	○生活に欠かせない電気が具体的にどのような場面で使われているかを考えさせる。	◆推進資料③ ◆ワークシート①
○推進資料④を見て、電気を節約するためにできることについて話し合う。	○自分たちにできる節電について話し合いをさせる。	◆推進資料④ ◆ワークシート②
○電気を節約するために自分が取り組むことを発表する。	○話し合った中から、自分が取り組むことを決めさせ、発表させる。	◆ワークシート③ ■東京都環境局 ■東京都教育庁



令和4年度 第1号 小学校低学年版

みらい ちきゅう じぶん かんが じっせん
未来の地球のために、自分でできることを考え、実践しよう

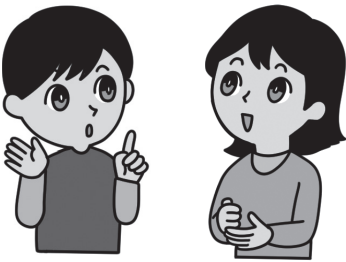
「カーボンハーフ」と「HTT」のとり組み

ねん
年

くみ
組

なまえ
名前

① どんなどころで^{でんき}電気はつかわれているのかな？



② ^{でんき}電気をせつやくするために^{なに}何ができるかな？



③ ^{でんき}電気をせつやくするために^{じぶん}自分が^くとり組むことをきめよう

